

製品名: Dok-3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10107

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	DOK3
別名	DOK3; Docking protein 3; Downstream of tyrosine kinase 3
遺伝子 ID	79930.0
SwissProt ID	Q7L591
免疫原	抗血清はヒト DOK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

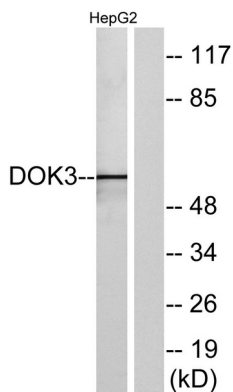
ドメイン:PTB ドメインは受容体との相互作用を媒介します。機能:DOK タンパク質は、酵素的に不活性なアダプターまたは足場タンパク質です。これらは、多分子シグナル伝達複合体の組み立てのためのドッキングプラットフォームを提供します。DOK3

は、INPP5D/SHIP1 との相互作用を介して B 細胞における JNK シグナル伝達の負の調節因子です。ABL 機能を調整する可能性があります。、PTM:恒常的にチロシンリン酸化されます。、PTM:IL2 刺激により、おそらく Src キナーゼによって C 末端チロシン残基がリン酸化されます。ABL キナーゼによってもリン酸化される可能性があります。、類似性:DOK ファミリーに属します。タイプ A サブファミリーです。、類似性:1 つの IRS 型 PTB ドメインを含みます。、類似性:1 つの PH ドメインを含みます。、サブユニット:チロシンリン酸化されると、SH2 ドメインを介して CSK および INPP5D/SHIP1 と相互作用します。 Tyr-381 と Tyr-398 はどちらも INPP5D との相互作用に必要です。CSK との相互作用には Tyr-381 のみが必要です。PTB ドメインを介してキナーゼ依存的に ABL に結合します。RasGAP とは相互作用しません。、組織特異性: 脾臓で発現します。、ドメイン: PTB ドメインは受容体との相互作用を媒介します。、機能: DOK タンパク質は酵素的に不活性化アダプターまたは足場タンパク質です。多分子シグナル伝達複合体の組み立てのためのドッキングプラットフォームを提供します。DOK3 は、INPP5D/SHIP1 との相互作用を介して B 細胞における JNK シグナル伝達の負の調節因子です。ABL 機能を調整する可能性があります。、PTM: 恒常的にチロシンリン酸化されます。、PTM: IL2 刺激により、おそらく Src キナーゼによって C 末端チロシン残基がリン酸化されます。 ABL キナーゼによってリン酸化される。、類似性: DOK ファミリーに属する。タイプ A サブファミリー。、類似性: IRS 型 PTB ドメインを 1 つ含む。、類似性: PH ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: チロシンリン酸化されると、SH2 ドメインを介して CSK および INPP5D/SHIP1 と相互作用する。INPP5D との相互作用には Tyr-381 と Tyr-398 の両方が必要である。CSK との相互作用には Tyr-381 のみが必要である。PTB ドメインを介してキナーゼ依存的に ABL に結合する。RasGAP とは相互作用しない。、組織特異性: 脾臓で発現する。、

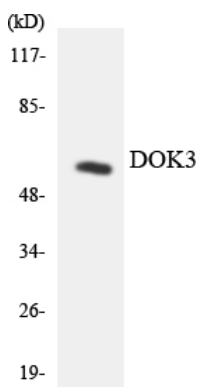
研究分野

B 細胞抗原

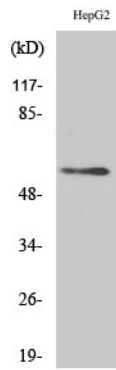
画像データ



DOK3 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DOK3 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Dok-3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析